

# Ironman70.3 World Championship Port Elizabeth , South Africa 参戦記

宿院 雅広

いつもの参戦記は、この日にこれしてあれして、レースの展開はどうだったというレポート形式で書くことが多いのですが、今回はちょっと違う角度で書いてみます。

それは、タイムを求めたり順位を目指すこと以外にも価値があると感じたためです。

今回3回目の championship のキーワードは「ベストレース」。私より20才も若いあるトップアスリートから大会直前にもらった言葉です。

1回目は、体調不良により、ランでは歩きだしてしまうお粗末なレースとなりましたが、リベンジとして挑んだ2回目は、全力を出し切ることに重点を置き、そのとおりのレースとなりました。でも、心のどこかではタイムと順位を気にしながらのレースだったと思います。このときはエイジ250人中の120番目あたりと健闘しました。

では3回目は？

これまで2回出て、世界の舞台ではタイムや順位は望むべくもないことがよくわかりました。同じエイジの速さといったらさまじいもので、信じられないほどです。

ならば、タイムや順位にこだわらずに「ベストレース」をするためには？

そうだ時計を外そう！

実は小島さんは以前から時計をつけずにレースに出ています。まあパクったってとこかな(笑)

今まで50回以上レースに出ましたが、今回は初めての試みです。

タイムも順位も気にせず、今生きている自分を感じながら、純粋にトライアスロンを楽しむために。

と言いながら、実はいつも時計の文字が小さくて見えない、またはほとんど見ていないってのが、正直なところですが(笑)

去年はダナンで掴んだ world championship の切符を今年はそのダナンで逃しました。



悔しい思いを1ヶ月後のセントレアにぶつけ、何とかゲット！  
私の中ではそこに至るまでの過程で十分目標は達成できました。

だから、championship は1年の集大成として子供のように純粋に  
トライアスロンを楽しみたいと。

そして「これが俺のベストレース」と言えるレースにしたいと。

タイムはワースト記録に近いボロボロ状態で、人生初のドラフティング  
ペナルティボックス行きも経験。抜かそうとするも前に3人並走していて  
躊躇している瞬間の出来事でした。それも含めて全てを出し切ったベス  
トレースとなりました！

水温17度の海を泳いだ1.9km、今まで見たことのない絶景のアフリ  
カの大地でペダルを回した90km、途絶えることのない沿道の声援を受  
けながらどしゃ降りの中を走った21km。

そのどれもが思い出深いものとなっています。

タイムや順位にこだわると後悔が残ります。でも楽しむことだけを純粋に追い求めると達成感が残ります。  
またひとつかけがえのない財産となりました。

そしてもうひとつの財産は、同部屋で6日間ずっと行動を共にした仲間。年の離れた弟のようなカツと息子のようなタ  
クマ、ありがとう！年代や考え方も全く違いますが、君たちの純粋さやひたむきさから多くのことを学びました。

オヤジになってもまだまだなんですね！

また必ずどこかで会おう！

小百合さんも彩さんもありがとう！

レースが終わってケープタウンに移動。ここでは、喜望峰に行くこと、テーブルマウンテンに登ること、そしてネルソン・マンデ  
ラが収監されていたロベン島に行くことが目的でした。

天気の関係でロベン島には行けませんでした。ここでは素敵な街と素敵な人々に出会いました。夜中に刃物をもって  
金を出せと追いかけてきた2人組の男は別として。

まあ、今となってはそれも含めてトライアスロンで訪れたポートエリザベスとはまた違った旅の良さを感じました。

さあ来年は二コースで開催です。仕事を立て込んでいる時期ですが、何とかなるかな？

でことで、再びスロットを獲得を目指して練習の日々が続きそうです。

ここまで応援していただいたみなさん、一緒に行動したみなさん、どうもありがとうございました。

今回のchampionship から得たものは、かけがえのない財産となり、今後の自分の糧となります！

いくつになっても新しい発見があるものですね。

